

# GENERAL PAUSE

寒波の2月を凍えながら耐え忍び、3月に入ってようやく暖かくなってきたものの、花粉もたくさん飛散し、目と鼻に辛い月となりました。

## 2018年3月の練習予定

\*3月のレギュラーの練習予定です。

月	練習日	時間	曲目
3月	1日	19:30～	Fly me to the moon.
		20:15～	双頭の鷺の旗の下に・マズルカ
	8日	19:30～	双頭の鷺の旗の下に・マズルカ
		20:15～	Fly me to the moon.
	15日	19:30～	Fly me to the moon.
		20:15～	双頭の鷺の旗の下に・マズルカ
	22日	19:30～	双頭の鷺の旗の下に・マズルカ
		20:15～	Fly me to the moon.
	29日	19:30～	Fly me to the moon.
		20:15～	双頭の鷺の旗の下に・マズルカ
4月	5日	19:30～	合奏
	12日	19:30～	合奏
	15日		男山公民館当日

### ・公民館まつりについて

2018.4.15（日） 於：男山公民館

#### 演目

双頭の鷺の旗の下に

コッペリアより「マズルカ」（前奏曲とマズルカでは無い方の曲）

Fly me to the moon.

練習は、「尚美のトレーニング」をはさみながら進めます。

#### 服装

団のトレーナー

トレーナーをお持ちでない方は、無地のを用意して亀村さんまで。

公民館まつりが終わると、団内アンサンブル（夏）と音の祭典（11月）を始めます。今年は小品の演奏を予定しております。

団内アンサンブルの間でも、「尚美のトレーニング」は各パートで練習ができる構成なので、団内アンサンブルの練習でも活用できると思います。

2月号で「コッペリア」について、かなり粗削りのあらすじを書きました。今月号でもう少しだけ詳しく。

ポーランドの農村が舞台。人形作り職人のコッペリウス博士は陰気で気難しく、村人から変人扱いされていた。彼の家の二階のベランダでは、コッペリウスが作った自動人形の少女、コッペリアが座って本を読んでいる。この自動人形がまた精巧にできていて人間のように見える。コッペリアが自動人形であるとうことを知らない男たちは、コッペリアに夢中になりアプローチをするも無視される。

コッペリウスの向かい住むスワルニダは明るく無邪気な少女で、村の青年フランツと婚約をしている。婚約者のフランツはスワルニダがありながらも、かわいらしいコッペリアがにアプローチをかける。フランツが投げキスをすると、コッペリアが投げキスを返したように見えた。その瞬間、フランツはコッペリアに夢中になってしまう。これがきっかけで2人は喧嘩になる。2人が喧嘩をしているところに、人々が集まりはじめた。翌日、領主から村に鐘が奉納されるので、その祭りが催行されるとつげられると、人々は踊り始める。（ここでこの「マズルカ」が演奏されます。）

その場で、「結婚するカップルに、領主から祝儀が渡されることになっている。君たちも結婚するんだろ？」と聞かれたげられたスワルニダとフランツだが、スワルニダが麦の穂に耳を近づける。麦の穂は真実を明らかにす流という言い伝えがある。「麦の穂がいうには、フランツは浮気しているので、私たちは結婚はしませんよ。」とスワルニダは言った。

祭りの中、コッペリウス博士が出かけた時に、スワルニダと友達がコッペリウス博士の家に忍び込み、コッペリアを見つける。コッペリアが自動人形であるという真実を知った彼女たちは、村の男たちが人形に夢中になっていることを大笑いをし、騒いでいるところに博士が戻ってきた。スワルニダと友達は、あわてて逃げ隠れた。

その一方で、フランツがコッペリアに会おうと忍び込んできたところを博士に見つかった。フランツは「コッペリアに惚れてしまった。」と博士に告げると、「よし飲もう。語ろう。」と二人は酒を酌み交わした。フランツが飲む酒には薬が仕込まれており、フランツは朦朧とし寝てしまう。博士は魔術でコッペリアに命を吹き込もうとしていたのだ。これを見ていたスワルニダがコッペリアに扮し、フランツを助け出す。

翌日、奉納の祭りでスワルニダとフランツも2人も領主から結婚の祝儀を受け取る。そこに、コッペリウス博士怒って現れる。「この2人は、私の人形を壊し、家も散らかしたのだ。」と抗議に来たのだ。スワルニダが領主から受け取った祝儀を賠償金として博士に渡そうとすると、「博士への弁償は私がする。」とあって、博士に賠償金を渡した。

博士が去ると、祭りがはじまり、めでたしめでたし。

まあ、なんというのか・・・。

「これが現代になって、いろいろと設定が変わって「昼メロ」になるのかな？」なんて思うほど、面白可笑しいストーリーでした。